



10月上旬、3学年の「総合実践」では、日本郵政グループの方々に講師をしていただき、「社会的課題解決に向けたビジネス」の講義をおこないました。この『高校生×日本郵政グループ』の取り組みは2021年度から始まり、今年で3回目になります。昨年度も同様のテーマで、講義・グループ討議・発表をおこないました。今年度はより現実的な発想（コスト面や売り上げなど）も考えながらビジネスプランを提案していきます。講義は去年の3年生の発表資料をもとに説明していただき、自分たちがどんなことを考えながらやっていくのかイメージをつけてもらいました。

3学年の「総合実践」の授業では、探求のプロセス（課題の設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現）をもとに、個人で社会課題の解決方法を考えており、個人のを日本郵政×パートナー（課題解決にむけて協力できる企業・団体）で解決できるビジネスモデル、商品・サービスなどをグループワークを通して案を深めていきます。各クラスの発表までに日本郵政の方に3回来校していただき、ワークショップを行っていただきました。ワークショップでは日本郵政の方々にアドバイスをいただいたり、わからないことや疑問に思ったことについての質問に答えてもらったりしながら、自分たちのプランを深めていきました。生徒たちは3年間で学んだビジネスについての総まとめとして取り組んでいきます。

各クラスの発表後、2チームずつ計12チームが全体発表会として発表を行う予定です。また、年明けには日本郵政支社で社員の前で、自分たちが提案したプランを発表する機会も設ける予定です。

どのような案が各クラスから出るのか今から非常に楽しみです！！

